2021 年度
教 員 活 動 報 告 書

学部学科名／部局名	職名	氏名
大学院マネジメント研究科	教授	鳥取部　真己
専門分野		
経営学、人材マネジメント論、組織行動論		

1　教育領域

（1）教育担当実績　　※ 90 分授業　1 限 9:00～、2 限 10:40～、3 限 13:00～、4 限 14:40～、5 限 16:20～、6 限 18:00～、7 限 19:40～

学部　1学期 ・ 科目名	曜日・時限	学部　2学期 ・ 科目名	曜日・時限
生産マネジメント	木 2	専門演習Ⅱ	水 2
専門演習Ⅰ	水 2		

大学院　1学期 ・ 科目名	曜日・時限	大学院　2学期 ・ 科目名	曜日・時限
人材マネジメント	金 6/7	経営組織	木 6/7
MBA オリエンテーション	土 2	プロジェクト研究Ⅱ	土 6
プロジェクト研究	土 6		

修士論文指導	学生数	博士論文指導	学生数
修士論文指導	4		

（2）FD 活動　＜研修参加、授業改善への取り組み等＞　（200 字以内）

（研修参加）全学研修（「アフターコロナを見据えた反転授業方式のアクティブ・ラーニング」（2021 年 8 月 19 日）、「アクティブ・ラーニング型授業における学生の学習を促す評価」（2021 年 11 月 25 日）、「新型コロナウイルス感染症拡大防止について」（2022 年 1 月 14 日）、「大学におけるダイバーシティ推進の意義と実際」（2022 年 3 月 7 日）「”データで見る”コロナ禍における本学学生の学修時間、学修相談、学生支援：2020 年度学修行動調査結果より」（2022 年 3 月 30 日））に参加した。また、部局の研修（「研究不正防止部局研究」（2021 年 6 月 9 日）、「学生との接し方」（2022 年 2 月 22 日））に参加した。さらに、部局内での FD 研修 2 回（2021 年 4 月 3 日・2021 年 9 月 22 日）を FD 委員として企画・運営した。
（授業改善の取り組み）部局全体でアクティブ・ラーニング化を加速するために、小倉サテライト教室のアクティブ・ラーニング対応の机・椅子への更新や、教室壁面ホワイトボード設置を同僚教員と事務局の協力を得ながら企画・推進した。また、WEB 会議システムを用いた遠隔講義やハイブリッド講義へ自己が担当する講義科目・ゼミ系科目での対応を進めた。

（3）その他　＜上記以外の特筆すべき教育活動、学習相談への対応、正規の授業時間外の教育活動等＞　（200 字以内）

（講義内ゲスト講義実施）大学院の 2 科目・3 回の講義につき、講義内ゲストとして講義を行った。
（学習相談への対応）　学部学生・MBA 学生の双方において、就活相談・キャリア相談・修学相談・講義内容などにつき、WEB 会議システムを活用しつつ、オフィスアワー以外の時間でも希望する学生の相談に応じた。

2　研究領域

（1）公表された研究成果（過去3年間）

【2019 年度】　学術書、その他の著書、学術論文、報告書、学会発表等	発表年・月
（論文）鳥取部真己・斉藤淳,「A 社における企業変革のリーダーシップ：従業員の危機意識の重要性」『北九州市立大学マネジメント論集』第 13 号, 19～34 頁（共著）	2020 年 3 月
【2020 年度】　学術書、その他の著書、学術論文、報告書、学会発表等	発表年・月
（論文）鳥取部真己・高橋秀直・坂本直記・鈴木成一郎・堀江吏将,「エアラインにおけるサービス品質と顧客満足の関係」『北九州市立大学マネジメント論集』第 14 号, 19～33 頁（共著）	2021 年 3 月
【2021 年度】　学術書、その他の著書、学術論文、報告書、学会発表等	発表年・月
（論文）今村仁美・高橋秀直・鳥取部真己,「中小企業 A 社における人材マネジメントと上司のフィードバックが従業員に与える影響」『北九州市立大学マネジメント論集』第 15 号, 33～46 頁（共著）	2022 年 3 月

（2）外部資金（過去3年間）

【2019 年度】　科研費等外部資金名	
継続	科学研究費(基盤 C：代表)『技術者の仕事経験の多様性と創造的成果』
【2020 年度】　科研費等外部資金名	
継続	科学研究費(基盤 C：代表)『技術者の仕事経験の多様性と創造的成果』
【2021 年度】　科研費等外部資金名	
継続	科学研究費(基盤 C：代表)『技術者の仕事経験の多様性と創造的成果』

（3）当該年度の学会活動　＜座長、討論者、パネリスト、委員、受賞、特許他実用新案等＞

なし

（4）その他　＜上記以外の当該年度における特筆すべき研究活動＞　（200 字以内）

なし

3　管理運営領域

（1）全学業務　＜役職等、委員会等＞

人権・ハラスメント相談員

（2）部局内業務　＜ワーキング・グループ、委員等＞

予算・庶務委員会委員長、教務委員、FD 委員

（3）広報活動業務　＜大学説明会、高校訪問、出張講義、高大連携、オープンキャンパス等＞	実施年月日
・大学院マネジメント研究科入試説明会（計 1 回）へ遠隔配信支援および就学相談者として参画した。	2022 年 11 月 26 日
（4）その他　＜上記以外の特筆すべき管理運営業務、部活動やサークルの部長、顧問等＞	
昨年度に引き続き、WEB 会議システムを利用した研究科における遠隔講義・ハイブリッド講義対応を、同僚教員や事務局の支援・協力を受けながら推進し、環境の構築や各教員への教育・支援を実施した。同設備を活用した主要なイベントの多くで設営支援を行った。また、アクティブ・ラーニング化を志向した老朽化什器の更新を主導し、小倉サテライト教室の机・椅子・ホワイトボードや PC など各種機材の更新・整備を同僚教員や事務局の協力を得ながら推進した。	

4　社会貢献領域	
（1）主体的活動　＜地域課題解決のための活動　（事業やプロジェクト等）＞	
なし	
（2）支援活動　＜外部からの依頼により行った活動　（学外委員会や審議会等の委員等）＞	
なし	
（3）講演活動　＜講演、公開講座、各種研修講師、シンポジウム、メディアへの出演等＞	実施年月日
なし	
（4）その他　＜上記以外の特筆すべき社会貢献活動＞	
なし	